

平成27年度 上三川町予算の概要

平成27年度は、「上三川町第6次総合計画」の最後の年です。町の将来像『より安心・安全で活力のあるまち 上三川』の実現を目指し、将来を見据えた施策を着実に推進すべく、平成27年度の予算を編成しました。

歳入においては、固定資産税について、企業の新規投資の手控えや、3年毎の評価替えに伴う在来家屋分の減価による減収が見込まれ、今年度も地方交付税を含む交付金や補助金等の依存財源【※1】が重要な財源となっています。また、建設債や臨時財政対策債【※2】の計画的な起債と財政調整基金【※3】や目的基金からの繰り入れにより、財源の確保を図ります。

健全財政を持続するため、歳出において、当面する行政需要に適切に対応すべく、緊急性、有効性、経済性を十分勘案し、重点的かつ効率的な予算配分として各事業を実施することとします。

一般会計予算は、95億7,900万円で、前年度当初予算に比較して△5億1,200万円、5.1%の減となりました。各特別会計予算は、国民健康保険事業予算36億2,300万円(前年度比14.0%増)、介護保険事業予算19億2,100万円(前年度比9.3%増)、後期高齢者医療予算2億1,200万円(前年度比1.4%増)、公共下水道事業予算12億5,400万円(前年度比3.7%減)、農業集落排水事業予算3億1,500万円(前年度比7.5%増)となりました。

以上、一般会計と特別会計を合計した予算総額は169億400万円となり、前年度当初予算と比較して7,300万円、0.4%の増となりました。

次に、水道事業予算は、収益的収支(維持管理)は収入6億199万7千円、支出5億6,985万7千円、資本的収支(設備投資)は収入9,944万3千円、支出2億7,235万3千円となりました。

平成27年度会計別予算集計表

(単位：千円、%)

会計	平成27年度	平成26年度	比較		
			増減額	増減率	
一般会計	9,579,000	10,091,000	△512,000	△5.1	
特別会計	7,325,000	6,740,000	585,000	8.7	
特別会計内訳	国民健康保険事業	3,623,000	3,178,000	445,000	14.0
	介護保険事業	1,921,000	1,758,000	163,000	9.3
	後期高齢者医療	212,000	209,000	3,000	1.4
	公共下水道事業	1,254,000	1,302,000	△48,000	△3.7
	農業集落排水事業	315,000	293,000	22,000	7.5
計	16,904,000	16,831,000	73,000	0.4	

※各特別会計は、特定の事業を行うための会計で一般会計とは区別し、個別に経理しています。

水道事業会計【公営企業会計】

(単位：千円、%)

種別	年度	平成27年度	平成26年度	比較	
				増減額	増減率
収益的収支 (維持管理)	収入	601,997	605,600	△3,603	△0.6
	支出	569,857	572,626	△2,769	△0.5
資本的収支 (設備投資)	収入	99,443	101,053	△1,610	△1.6
	支出	272,353	284,216	△11,863	△4.2

※水道事業会計では、上水道の管理運営を行い、民間企業会計と同様の独立採算制をとっています。

用語説明

- ※1. 依存財源・・・国・県支出金や町債など、国や県の意思によって定められ、交付されるお金。
- ※2. 臨時財政対策債・・・国の財源不足により、交付される地方交付税が足りない時に、不足分を補うために借り入れるお金。
- ※3. 財政調整基金・・・財源に余裕がある年に積み立て、不足する年に取り崩すことで財源を調整し、計画的な財政運営を行うための貯金。

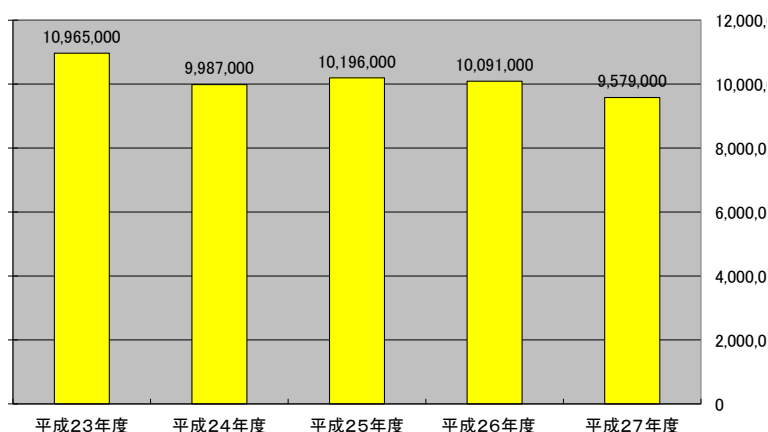
一般会計予算額の推移

直近5年間に於いて、予算規模はおおむね100億円程度で推移しています。

今年度は、2年ぶりに予算額が100億円を下回りました。

23年度は上三川保育園の整備といきいきプラザのサウナ増設がありました。

一般会計予算額の推移（単位：千円）



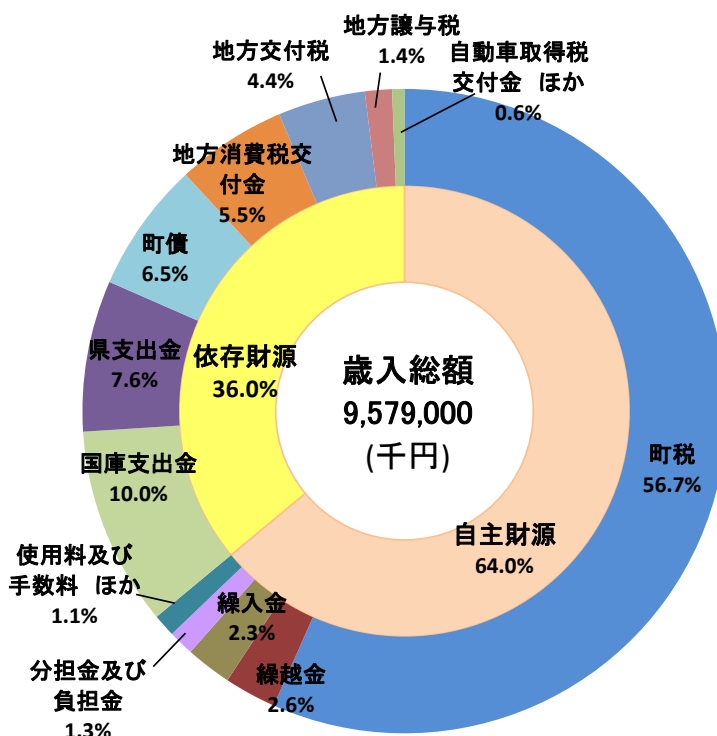
歳入

歳入の根幹をなす町税は、固定資産税について、企業の新規投資の手控えや3年毎の評価替えに伴う、在来家屋分の減価が見込まれ、前年度予算と比較して1億9,580万5千円(3.5%)の減額となりました。

27年度も引き続き交付税の交付団体となる見込みですが、地方交付税は前年度比6.7%減の4億2,000万円としています。

また、財源調整のため、繰入金として町債管理基金等から総額2億2,084万4千円の取り崩しと、町債として臨時財政対策債を導入するなど総額6億2,690万円の起債を図り、各事業に充当することとします。

町税の減収を見込んだこともあり、自主財源(町税や繰入金、使用料など町が集めることの出来るお金)の割合が0.9ポイント減少しています。



平成27年度歳入予算一覧

(単位：千円、%)

費目		平成27年度	平成26年度	増減額	増減率
自主財源	町税	5,426,955	5,622,760	△195,805	△3.5
	繰越金	250,000	250,000	0	—
	繰入金	220,847	450,629	△229,782	△51.0
	分担金及び交付金	121,727	109,500	12,227	11.2
	使用料及び手数料	56,183	54,981	1,202	2.2
	諸収入	46,022	51,241	△5,219	△10.2
	財産収入	6,801	10,708	△3,907	△36.5
	寄附金	1	1	0	—
依存財源	国庫支出金	958,107	1,175,045	△216,938	△18.5
	県支出金	726,557	808,935	△82,378	△10.2
	町債	626,900	584,300	42,600	7.3
	地方消費税交付金	530,000	334,000	196,000	58.7
	地方交付税	420,000	450,000	△30,000	△6.7
	地方譲与税	130,000	128,400	1,600	1.2
	自動車取得税交付金	22,000	21,800	200	0.9
	地方特例交付金	20,000	20,000	0	—
	利子割交付金	6,700	8,300	△1,600	△19.3
	交通安全対策特別交付金	4,200	4,400	△200	△4.5
	配当割交付金	4,000	4,000	0	—
	株式譲渡所得割交付金	2,000	2,000	0	—
合計		9,579,000	10,196,000	△512,000	△5.1

※ 構成比各費目を四捨五入しているため、合計が100.0%にならないことがあります。
また、構成比率が表示単位未満の場合には0.0%となっています。

費目の説明

町税・・・住民の皆さんから納めていただく固定資産税や町民税、軽自動車税など。

なお、国民健康保険税は、特別会計『国民健康保険事業』における収入です。

繰入金・・・積み立てていた基金（町の貯金）などから、予算に繰り入れるお金。

繰越金・・・前年度から持ち越されたお金。

国庫／県支出金・・・国や県から使い道が決められて渡されるお金。

町債・・・町が事業を行うために、長期間、銀行などから借り入れるお金（借金）。

地方交付税・・・全国の市町村で同じ行政サービスが受けられるように、国から支払われるお金。

〇〇〇交付金・・・皆さんが納めている国税（消費税や所得税など）から、町に配分されてくるお金。

歳出

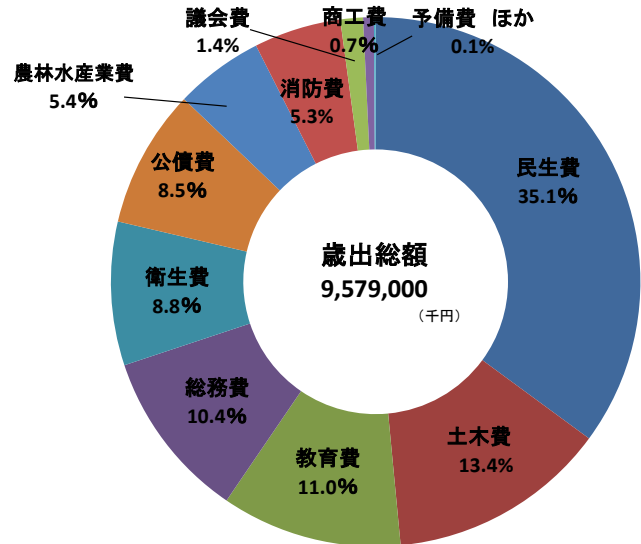
歳出を分類する場合、「目的別」・「性質別」の2種類で分類することが出来ます。「目的別」では行政目的（仕事の内容）で分類するので、町の仕事のどの分野に重点的にお金がかけられているかが分かります。一方、「性質別」では人件費や物件費といった経済的性質に分類することで、財政の健全度等を把握することが出来ます。

○目的別

医療費助成や障がい者支援に係る「民生費」が35.1%と一番多い割合を占めており、前年度に引き続き、福祉の分野に重点を置いていることが分かります。

次いで、道路や河川整備事業の「土木費」の割合が13.4%、小中学校の改修工事が行われる「教育費」の割合が11.0%といった順になっています。

「公債費」とは町の借金返済費用のことです。歳出全体のおよそ1割（8億1,033万8千円）が借金返済に充てられます。



平成27年度目的別歳出予算一覧

(単位：千円、%)

費目		平成27年度	平成26年度	増減額	増減率
民生費	高齢者・障がい者・児童の福祉の向上に	3,360,409	3,373,857	△13,448	△0.4
土木費	道路・公園・河川の整備や区画整理などに	1,284,648	1,268,975	15,673	1.2
教育費	小中学校・図書館の運営や整備、文化やスポーツの振興に	1,056,627	1,601,635	△545,008	△34.0
総務費	戸籍・徴税・まちづくりなどに	993,568	939,364	54,204	5.8
衛生費	町民の皆さんの健康増進、ごみやし尿の処理などに	839,662	819,122	20,540	2.5
公債費	各種事業を実施するために行った借金の返済に	810,338	882,095	△71,757	△8.1
農林水産業費	農業や畜産業などの振興のために	519,184	509,167	10,017	2.0
消防費	消防活動・防災などに	509,796	487,315	22,481	4.6
議会費	議会運営のために	132,212	126,752	5,460	4.3
商工費	商工業の振興のために	62,439	72,601	△10,162	△14.0
予備費	緊急を要する支出など不測の事態に備えて	10,000	10,000	0	—
労働費	勤労者・消費者対策のために	113	113	0	—
災害復旧費	被災時の修繕などに	3	3	0	—
諸支出金	その他	1	1	0	—
合計		9,579,000	10,091,000	△512,000	△5.1

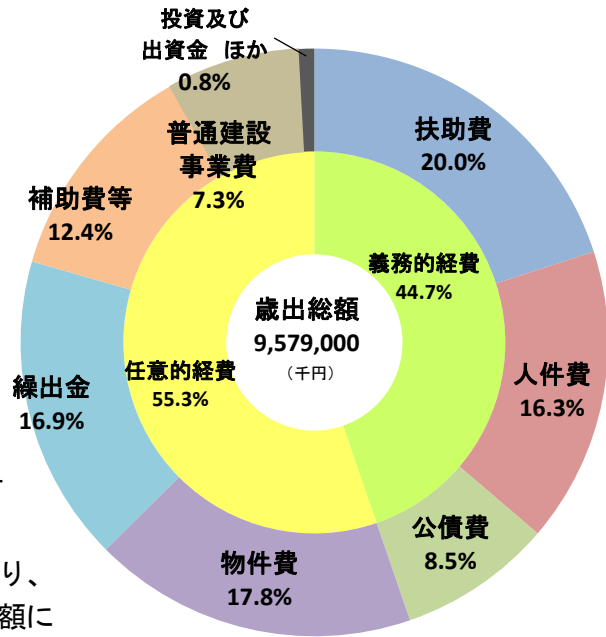
※ 構成比各費目を四捨五入しているため、合計が100.0%にならないことがあります。
また、構成比率が表示単位未満の場合には0.0%となっています。

○性質別

前年度同様に、社会保障に関する「扶助費（20.0%）」、施設管理の委託費を含む「物件費（17.8%）」、そして、職員給与や議員報酬などの「人件費（16.3%）」の順に費用は割り当てられています。

性質別は、さらに「義務的経費」・「任意的経費」と大きく2つに分類することで、財政の弾力性（財政にゆとりがあって、様々な状況に柔軟に対応することが出来るか）、健全性を分析することができます。

「義務的経費」は、支出が義務づけられており、任意に削除することが困難な経費です。歳出総額に占める割合が高くなると、財政の自由度は低くなります。



平成27年度性質別歳出予算一覧

(単位：千円、%)

費目		平成27年度	平成26年度	増減額	増減率
義務的	扶助費	1,916,263	1,869,845	46,418	2.5
	人件費	1,557,043	1,582,064	△25,021	△1.6
	公債費	810,338	882,095	△71,757	△8.1
任意的	物件費	1,708,333	1,654,566	53,767	3.2
	繰出金	1,617,821	1,499,776	118,045	7.9
	補助費等	1,186,419	1,253,025	△66,606	△5.3
	普通建設事業費	700,513	1,267,555	△567,042	△44.7
	投資及び出資金	42,000	49,000	△7,000	△14.3
	維持補修費	28,840	21,534	7,306	33.9
	予備費	10,000	10,000	0	—
	積立金	1,427	1,537	△110	△7.2
	災害復旧費	3	3	0	—
合計		9,579,000	10,091,000	△512,000	△5.1

※ 構成比各費目を四捨五入しているため、合計が100.0%にならないことがあります。
また、構成比率が表示単位未満の場合には0.0%となっています。

平成27年度『より安心・安全で活力のあるまち 上三川』の実現にむけた主な事業

◎人々が集う快適な生活環境・基盤のまち
～道路・交通・市街地等の整備、環境、防災防犯～



・道路整備事業

事業費 1億2,101万2千円

幹線道路・生活道路や通学路などの狭あい道路を拡幅改良することで、住民生活の安心・安全を確保します。

・河川事業

事業費 1,417万6千円

公共土木災害を未然に防ぐため、赤沢川の危険箇所の改修として、また武名瀬川の溢水対策のため護岸整備を実施します。

・富士山地区市街地整備事業

事業費 6,000万円

良好な住環境の形成と生活利便性・快適性の向上、隣接する中心市街地との一体化に向け、上下水道の整備にあわせ、新規路線の整備を行います。

・デマンド交通運行事業

事業費 2,413万1千円

電話による事前予約によって乗合方式のタクシーが自宅から目的地（町内全域及び近隣市町の商業施設、病院等）まで送迎する事業です。地域公共交通の整備を行うことで、公共交通不便地域の解消を図ります。

・クリーンパーク茂原運営事業

事業費 1億155万9千円

資源物とごみの処理に伴う負担金を支払っています。上三川町単独で処理を行うのに比べ、安全かつ安価に処理が出来ます。

・小山広域保健衛生組合運営事業

事業費 1億1,998万4千円

上三川町を含めた2市2町では、小山広域保健衛生組合に負担金を支払い、広域的な圏域の環境及び衛生に関する事務を共同処理しています。上三川町のし尿処理は、小山広域クリーンセンターで行っています。また、同組合で休日急患診療施設の管理運営及び診療も行っています。

・消防設備整備事業

事業費 140万3千円

第3分団第1部、第4部の消防団詰所の設備工事を行い、町の消防・防災力をより強化し、災害等に備えながら、消防・防災体制の充実を図ります。

・消防緊急デジタル化無線整備事業

事業費 681万7千円

消防緊急無線が平成28年6月1日からデジタル化されることに伴い、消防車両等の無線受令機器のデジタル化を図ります。

・防災行政無線整備事業

事業費 6, 177万6千円

火災・風水害・地震などの気象情報等を町民の皆さんにいち早くお知らせし、災害発生時には生活支援情報を提供するための無線の整備を行います。

◎だれもが元気になる健康福祉のまち
～社会福祉、子育て支援、健康維持増進～

・社会福祉協議会補助事業

事業費 5, 126万7千円

社会福祉協議会は社会福祉を目的とする事業の企画及び実施、それらの事業への住民参加の援助など、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指した活動を行っています。社会福祉協議会の円滑な運営を確保するため、補助金を交付します。

・障がい者自立支援給付事業

事業費 3億5, 520万円

障がい者の方が、自立した日常生活・社会生活を営むことが出来るよう、必要な障がい福祉サービスの給付、その他支援を行います。

・母子健康教育事業

事業費 3, 682万5千円

母子の健康保持及び増進を図るために、健診及び健診の助成を行います。また、プレパパママ教室、こんにちは赤ちゃん事業などを実施し、保健指導や相談対応をしています。

・第3子以降子育て支援事業

事業費 1, 293万9千円

安心して子どもを生み育てることができる環境づくり並びに幼稚園への就園を促進するため、保育所入所者と同様に、幼稚園に第3子以降の子どもを入園させた保護者の方に「第3子以降子育て支援金」を交付します。

・放課後児童健全育成事業

事業費 2, 959万8千円

児童の健全育成活動の向上を図るため、学童保育事業を学童クラブに委託し実施しています。本郷小、北小、南っ子、坂上小（学校の空き教室を利用）、上小、本北小、明小（専用室を利用）の7つの学童保育があります。

・医療費助成事業

事業費 1億6, 910万円

疫病の早期発見と治療の促進のために、妊産婦・乳幼児・ひとり親家庭の方を対象に医療費の一部を助成します。

・予防接種事業

事業費 8, 089万2千円

伝染の恐れのある疫病の発生及びまん延を予防するため、三種混合、BCG、不活化ポリオなどの予防接種を行います。

・がん・結核検診事業

事業費 6,417万9千円

町民の健康づくりに寄与することを目的とし、早期発見・早期治療につなげるため、がん・結核検診等の場を提供します。必要に応じ保健指導を行います。

・上三川いきいきプラザ管理運営事業

事業費 2億1,054万9千円

すべての町民が福祉の向上と健康維持・増進を図るとともに、町民相互の交流の場とするためオープンした上三川いきいきプラザは、保健センター、町民交流センター、総合健康活動促進など5つの機能を有する複合施設となっているため、管理運営は複雑なものになります。このため町では、総合的かつ効率的な管理運営と経費の削減を図るために委託をして事業を行います。

・シルバー人材センター運営補助事業

事業費 900万円

高齢者が臨時的、短期的な就業を通し生きがいの充実を図り、また高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与する、シルバー人材センターの安定した運営の確保のため、補助金を交付します。

・敬老祝金支給事業

事業費 613万5千円

上三川町に住所を1年以上有し、年齢が80歳・85歳・90歳・95歳・100歳になる方に対し、祝金を支給します。

**◎人が輝き文化が香る教育文化のまち
～教育、スポーツ、芸術・文化～**

・義務教育施設改修事業

事業費 3,161万8千円

校舎の老朽化による維持修繕や軽微な補修及び、設備工作物等の整備・修理を行い、施設の維持を図るとともに児童生徒の安全を確保します。平成27年度は上三川小学校屋内運動場、本郷中学校配膳室が対象です。

・適応指導教室・教育指導体制整備事業

事業費 1,038万1千円

心に悩みを抱える児童生徒及び保護者の方に対し、適切なカウンセリングを実施できるよう町スクールカウンセラーを設置、また、児童生徒生活指導のため町スクールサポーターを設置し、教育現場の支援を行っています。

・小中学校学級運営等改善事業

事業費 3,520万円

一斉指導では課題を十分に理解することが難しい児童生徒や、集団参加が困難である児童生徒が、学習への充実感と自己肯定感を育むことが出来るよう、特別教育指導員・特別支援補助員を配置して学習支援を行っています。

・生涯学習推進事業

事業費 415万6千円

生活・文化・趣味・健康に係る講座や講演会等を実施し、学習活動の機会や情報を提供することで町民の皆さんの自主的学習を支援しています。

・しらさぎマラソン大会事業

事業費 315万円

当町のしらさぎマラソン大会は、県下全域および県外より多数の参加者があり、開催は30回をこえ、歴史ある大会となっています。大会実行委員会に補助金を交付し、事業を実施しています。

・町民スポーツ・レクリエーション祭

事業費 302万8千円

蓼沼緑地公園、田川ふれあい公園を会場に様々なスポーツ・レクリエーションを実施し、町民の皆さんの継続的な運動、健康づくりにつなげます。

◎活気に満ちた元気産業のまち
～農業、商業、観光～

・農業基盤整備促進事業

事業費 1,690万円

農業生産性の向上、農業構造の改善のため、農業用用水路等の計画的な整備・補修、また農作業道路や用水口の整備・改修工事を行います。

・新規就農総合支援事業

事業費 450万円

経営が不安定な就農初期段階の青年就農者に対し、青年就農給付金を給付しています。

・首都圏農業推進事業園芸産地振興対策事業

事業費 300万円

施設園芸作物の新規もしくは規模拡大のため、パイプハウスを設置する農業者に対し補助金を交付しています。

・土地利用型経営体育成事業

事業費 525万円

効率的・安定的な経営体の育成のために、集落営農組織や個別経営体の農業機械導入に対して補助金を交付しています。

・企業誘致事業

事業費 544万円

テクノパークかみのかわの用地を取得して、2年以内に建設工事に着工した企業、操業開始から5年以内に増設した企業に対し、固定資産税及び都市計画税相当額を3年間奨励金として交付し、企業進出を促進しています。

◎ともにつくる協働・自立のまち
～コミュニティ活動、情報ネットワーク～

・コミュニティ施設整備事業 事業費 216万1千円

活力と潤いのある地域社会を築くためコミュニティ施設を良好に管理・整備します。平成27年度は本郷北コミュニティセンター外壁塗装工事を行います。

・総合計画策定事業 事業費 555万8千円

総合計画とは、まちづくりの長期的展望を町民の皆さんに示すものであり、この指針に沿って町政が進められます。平成28年度からの次期総合計画の策定にあたり基本構想の作成や前期基本計画の作成を行います。

・公共施設等総合管理計画策定事業 事業費 939万6千円

町が所有する公共施設等の全体の状況を把握するとともに、町を取り巻く現況及び将来の見通しを分析し、これをふまえた公共施設等の管理の基本的な方針を定めることを内容とした計画を定めます。

・社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）システム整備事業

事業費 2,047万5千円

マイナンバーとは、住民票を有する全ての方に1人1つの番号を付して、社会保障、税、災害対策の分野で効率的に情報を管理し、複数の機関に存在する個人の情報が同一人の情報であることを確認するために活用されるものです。平成27年10月から番号が通知されることに伴い、システムの整備を行います。

・住民票等のコンビニ交付事業 事業費 317万3千円

住民票などの証明書をコンビニで交付できるようにすることで、住民サービスの向上を図ります。平成28年3月からのサービス開始に向け、交付機器の整備やシステムの改修を行います。

基金の推移

基金（町の貯金）には、特定の目的のために資金を積み立てる（基金を使用する時は、積み立てた基金を取り崩して使用する）「特定目的基金」と、特定の目的のために定額資金を運用する（基金を使用するときは、基金の運用益を使用する）「定額運用基金」の2種類があります。

（単位：千円）

基金	平成26年度末 （見込み）	平成27年度増減額		平成27年度末 （見込み）
		積立予定額	取崩予定額	
特定目的基金				
財政調整基金	760,490	343	0	760,833
町債管理基金	1,071,671	664	200,000	872,335
町営住宅施設整備基金	92,907	53	0	92,960
義務教育施設整備基金	69,840	105	3,000	66,945
社会福祉基金	134,635	92	11,089	123,638
東日本大震災復興推進基金	6,751	4	6,755	0
生涯学習センター整備基金	230,206	166	0	230,372
定額運用基金				
土地開発基金	485,861	0	0	485,861
商工振興資金融資事業基金	221,264	0	0	221,264
印紙等購買基金	2,000	0	0	2,000
一般会計合計	3,075,625	1,427	220,844	2,856,208
国民健康保険給付基金	290,448	204	20,000	270,652
高額療養費等資金貸付基金	5,027	2	0	5,029
介護給付費準備基金	107,763	71	17,834	90,000
特別会計合計	403,238	277	37,834	365,681
合計	3,478,863	1,704	258,678	3,221,889

町債の推移

町では各種事業を実施するために、国や銀行などから資金の借入（借金）を行っています。

（単位：千円）

会計	平成26年度末 （見込み）	平成27年度増減額		平成27年度末 （見込み）
		発行予定額	償還予定額	
一般会計	7,852,590	626,900	723,170	7,756,320
公共下水道事業特別会計	6,040,161	229,700	386,296	5,883,565
農業集落排水事業特別会計	3,235,176	0	138,893	3,096,283
水道事業会計	1,964,885	1	123,215	1,841,671
合計	19,092,812	856,601	1,371,574	18,577,839